

日本システムバンク、福井の在来線駅で駐車場開発

2023/11/30 20:10 日本経済新聞電子版 399文字

コインパーキング用機器などを販売する日本システムバンクは、JR北陸線の森田駅（福井市）前にコインパーキングを設置した。収容台数は40台。2024年3月に北陸新幹線が福井県に延伸すると、福井駅近くにオフィスや飲食店が増え、周辺の在来線駅から通勤する人が増えると想定される。パークアンドライドの需要を見込み、在来線駅で駐車場の開発を進める。

森田駅前のコインパーキングはフランチャイズ方式をとり、不動産会社の拓信産業（同）が運営する。小寺直哉代表は福井駅周辺で働く人のほか「新幹線に乗る目的で森田駅を活用する人は増えるだろう」と見込む。同駅は福井駅の隣駅で、住民も増えているという。

福井県は1世帯あたりの自家用車の保有台数が全国首位。車で通勤する人が少なくないが、足元ではパークアンドライドの利用者も増えつつある。日本システムバンクは在来線駅前でパーキングを増やし、新幹線開業に伴う移動の需要を取り込む。



森田駅前は月決め駐車場が多く、駅利用者が気軽に使えるようコインパーキングを設置したという（福井市）

許諾番号30096699 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.